

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第24週の発生動向

全数報告の感染症 (24 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：日本紅斑熱 1 例。5 類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症 1 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	60 歳代	男	肺結核	胸痛
			90 歳代	女	疑似症患者	呼吸困難
		高鍋	80 歳代	女	肺結核	咳、痰
		日向	70 歳代	女	肺結核	咳、発熱
4類	日本紅斑熱	日向	50 歳代	男	患者	発熱、頭痛、刺し口、食欲不振
5類	侵襲性肺炎球菌感染症	宮崎市	80 歳代	男	患者	発熱

定点把握の対象となる 5 類感染症

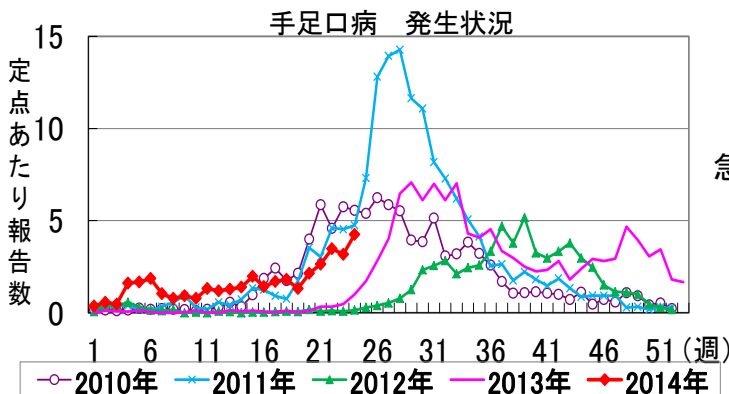
・定点医療機関からの報告総数は 849 人 (定点あたり 27.9) で、前週比 114% と増加した。前週に比べ増加した主な疾患は手足口病と流行性角結膜炎であった。減少した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

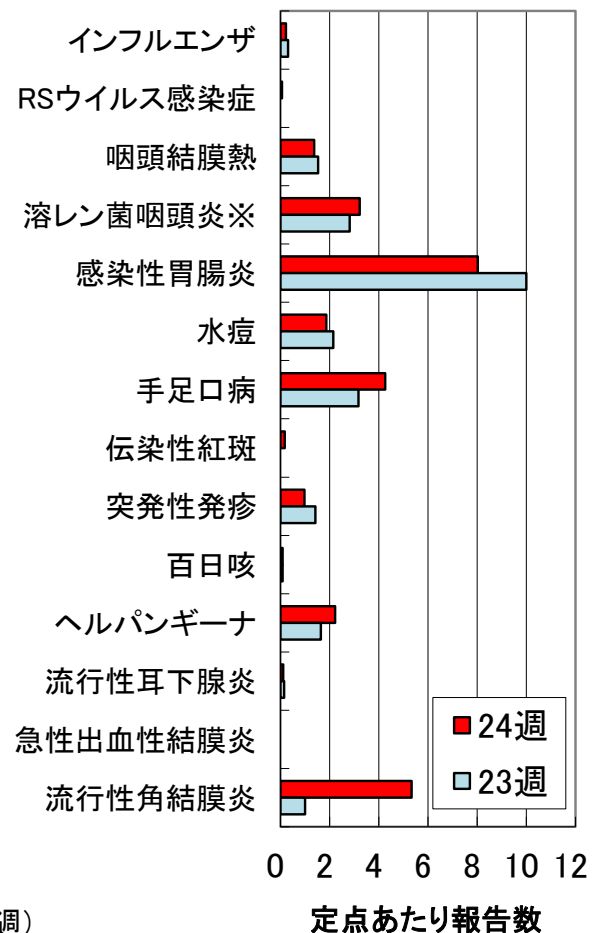
【手足口病】

・報告数は 153 人 (4.3) で前週比 134% と増加した。例年同時期の定点あたり平均値* (2.8) の約 1.5 倍であった。日南 (9.7)、宮崎市 (5.6)、延岡 (5.3) 保健所からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 2 歳が全体の約 6 割を占めた。

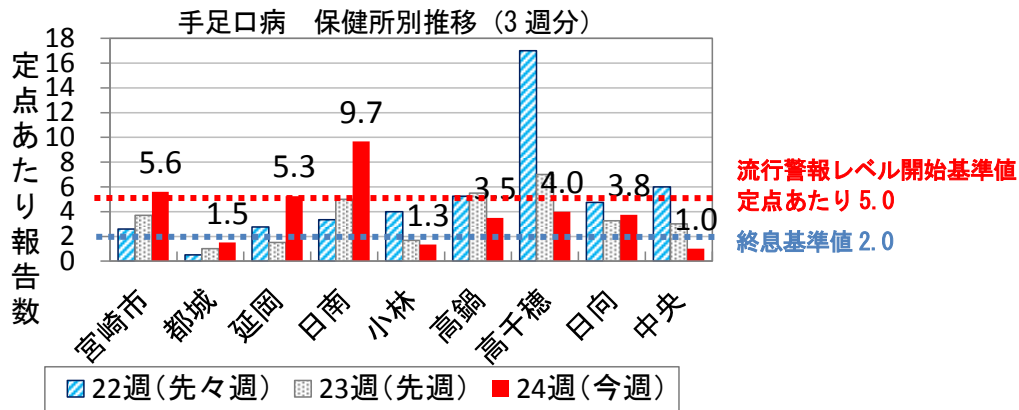
* 過去 5 年間の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



《前週との比較》



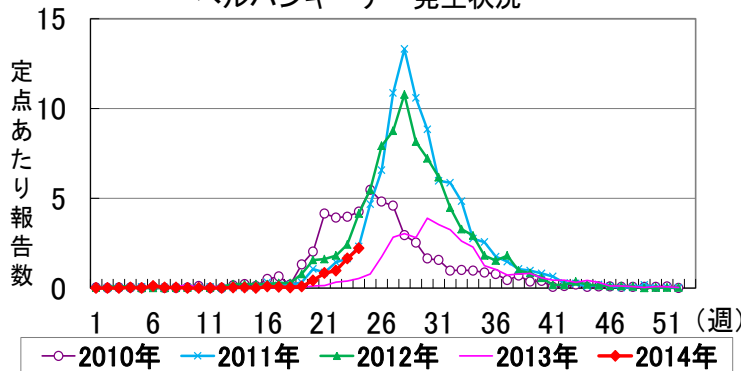
※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



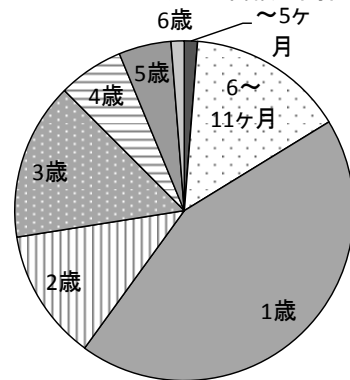
【ヘルパンギーナ】

・報告数は80人(2.2)で前週比136%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値*(2.7)の約0.8倍である。年齢別では6ヶ月から1歳が全体の約6割を占めた。

ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 年齢別割合



★流行警報レベル開始基準値超過疾患★

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(5.6)、流行性角結膜炎(10.3)
都城	なし
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.8)、手足口病(5.3)
日南	咽頭結膜熱(7.7)、手足口病(9.7)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	百日咳(1.0)
日向	なし
中央	なし

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・手足口病(5.0)
- ・百日咳(1.0)
- ・流行性角結膜炎(8.0)

□ 病原体検出情報 (衛生環境研究所微生物部 平成26年6月17日までに検出)

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10歳代	女	2014.5.2	百日咳疑、下気道炎、気管支炎	咽頭ぬぐい液(鼻汁)	2014.5.13
EPEC (OUT:HUT eae)	0~4	男	2014.5.7	EPEC疑	便	2014.5.19
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10歳代	男	2014.5.13	百日咳疑、3週間続く咳嗽	咽頭ぬぐい液	2014.5.28
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	5~9	女	2014.5.20	百日咳疑、上気道炎、下気道炎、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2014.6.1
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	5~9	男	2014.5.26	百日咳疑、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2014.6.16
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	5~9	女	2014.5.26	百日咳疑、下気道炎、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2014.6.16
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	0~4	男	2014.5.26	百日咳疑、気管支炎	咽頭ぬぐい液	2014.6.16
<i>Salmonella</i> Thompson(O7:k:1,5)	0~4	男	2014.5.7	EPEC疑	便	2014.5.19
<i>Bordetella pertussis</i> (百日咳菌)	10歳代	女	2014.5.29	百日咳疑、5月28日~咳	咽頭ぬぐい液	2014.5.29

○ 百日咳ワクチンの免疫持続は4~12年程度であることから、以前から若年者~成人における患者数の増加が問題となっている。一般に百日咳は発熱がないことから成人では軽視されがちであるが、乳幼児では重篤な病態をとることがある。また、百日咳は家族内感染を起こしやすいことから、特に乳幼児のいる家庭では大人が乳幼児に対し感染源とならないよう十分注意する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	検出日
エンテロウイルス71型	1	男	2014.4.8	手足口病、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2014.6.12
エンテロウイルス71型	3	女	2014.4.7	手足口病、37.6℃、発疹、鼻水	咽頭ぬぐい液	2014.6.12
エンテロウイルス71型	3	女	2014.4.3	手足口病、発疹	咽頭ぬぐい液	2014.6.12
エンテロウイルス71型	7ヶ月	女	2014.4.9	手足口病、38.6℃、口内炎、発疹	咽頭ぬぐい液	2014.6.12
エンテロウイルス71型	3	男	2014.4.10	脳幹脳炎、39.0℃、嘔気、嘔吐、傾眠傾向	便	2014.6.12
エンテロウイルス71型	1	女	2014.4.10	エンテロウイルス、発疹	咽頭ぬぐい液	2014.6.12
パラインフルエンザ3型	1ヶ月	女	2014.6.6	気管支炎、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2014.6.16

○手足口病と診断された幼児3名、乳児1名、脳幹脳炎と診断された幼児1名及びエンテロウイルスと診断された幼児1名からエンテロウイルス71型(EV71)が分離された。EV71型は宮崎県では今年に入り、8株分離されている。EV71に感染した場合、他のウイルスによる手足口病と比べて、中枢神経系の合併症を引き起こす割合が高いことが報告されており、今後EV71型による手足口病に注意が必要である。

○気管支炎と診断された乳児からパラインフルエンザ3型が検出された。パラインフルエンザは小児を中心とした急性呼吸器感染症の主要な原因ウイルスの1つであり、パラインフルエンザ感染症は一年中認められる。特に3型は春に多いとされており、全国的にも昨年と同様この時期から検出数が増えてきている。

📊 全国第23週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第23週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	467例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	43例				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	7例	デング熱	1例
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	24例		
5類感染症	アメーバ赤痢	14例	ウイルス性肝炎	4例	急性脳炎	3例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	19例
	ジアルジア症	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	28例	梅毒	32例	破傷風	3例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2例	風しん	2例	麻しん	6例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比89%と減少した。今週増加した主な疾患は咽頭結膜熱とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと感染性胃腸炎であった。

咽頭結膜熱の報告数は2,663人(0.85)で、前週比113%と増加した。福井県(2.8)、富山県(2.0)、鹿児島県(1.8)からの報告が多く、年齢別では1~3歳が全体の約6割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は1,525人(0.48)で、前週比133%と増加した。熊本県(3.3)、山口県(2.3)、大分県(1.8)からの報告が多く、年齢別では1~2歳が全体の約半数を占めた。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第24週(06月09日～06月15日)

疾病名		第23週	第24週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	18	13	2				11				
	定点あたり	0.31	0.22	0.13	0.00	0.00	0.00	2.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数		2	2								
	定点あたり	0.00	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	55	49	8	4	10	23		2			2
	定点あたり	1.53	1.36	0.80	0.67	2.50	7.67	0.00	0.50	0.00	0.00	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	101	116	10	11	35	10	8	11	5	26	
	定点あたり	2.81	3.22	1.00	1.83	8.75	3.33	2.67	2.75	5.00	6.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	360	289	73	62	20	32	46	23	4	29	
	定点あたり	10.00	8.03	7.30	10.33	5.00	10.67	15.33	5.75	4.00	7.25	0.00
水痘	報告数	77	67	16	10	15	10	3	4	1	7	1
	定点あたり	2.14	1.86	1.60	1.67	3.75	3.33	1.00	1.00	1.00	1.75	1.00
手足口病	報告数	114	153	56	9	21	29	4	14	4	15	1
	定点あたり	3.17	4.25	5.60	1.50	5.25	9.67	1.33	3.50	4.00	3.75	1.00
伝染性紅斑	報告数		6			1	5					
	定点あたり	0.00	0.17	0.00	0.00	0.25	1.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	51	35	10	9	3	4	2	3		2	2
	定点あたり	1.42	0.97	1.00	1.50	0.75	1.33	0.67	0.75	0.00	0.50	2.00
百日咳	報告数	3	3		1					1	1	
	定点あたり	0.08	0.08	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	59	80	25	11	14	1	6	2		21	
	定点あたり	1.64	2.22	2.50	1.83	3.50	0.33	2.00	0.50	0.00	5.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	4	1	1				1		1	
	定点あたり	0.14	0.11	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	32	31	1							
	定点あたり	1.00	5.33	10.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週～24週)

2類感染症	結核	90例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	8例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	7例
	つつが虫病	5例	日本紅斑熱	2例(1)	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	6例(1)
	梅毒	6例	破傷風	1例	風しん	1例
	麻しん	3例				

()内は今週届出分、再掲